



やまもとりょうすけ  
山本亮介 議員  
YAMAMOTO Ryosuke

# Q. 小中学校体育館 エアコン設置は

# A. 将来的には必要である

**Q** 豊山町では、普通教室、特別教室にエアコンが設置され、快適な環境で授業を受けることができているが、小中学校の体育館についてはエアコンが設置されていない。

小中学校の体育館は子どもたちの運動能力の向上と健やかな成長を促す場として、重要な役割を担っている。今後は小中学校の体育館へのエアコン設置も必要ではないか。

**A** 教育委員会事務局長

小中学校体育館の空調整備については、近年の気象状況に対応した快適な学習環境確保の観点から将来的には必要であると認識している。

**Q** 私はいよいよ小中学校の体育館のエアコン設置は緊急の課題であると考え、県内の自治体を見てみると、既に大府市、大町町が小中学校体育館のエアコン設置を完了している。清須市は現在工事中で令和5年1月に工事が完了する予定である。私は先日、大口西小学校体育館、大

口南小学校体育館を視察させていただいた。普段の体育の授業や集会の時には適宜エアコンを使い、熱中症の心配なく安心して体育館を使うことができているとのことである。また、夏休みの児童クラブの子どもたちが涼しい体育館でのびのびと体を動かし遊ぶ姿があった。子どもたちや先生、児童クラブの職員も本当に助かっているという声を聞いた。今日の気候危機の状況を踏まえ、できるだけ早く町内全ての小中学校体育館に、エアコン設置をするよう強く求める。

**A** 教育委員会事務局長

文部科学省の調査によると、令和2年9月現在、愛知県内の公立小中学校では、断熱性能のない一般的な体育館等への空調設置率は0.6%となっている。

各自自治体にはそれぞれ抱える課題があり、財政規模や財政状況に応じ適切に対応しているものと思う。

本町でも、体育館への空調整備の必要性は十分に認識し

ているが、長年にわたり強い要望があるトイレの改修をまずは優先的に取り組んでいく。

**Q** 平成31年3月に完成した豊山町学校施設改築・長寿命化計画で、豊山小学校の講堂について、令和7年から8年にかけて改築することとしている。しかし、講堂の改修にあたっては、長寿命化の実施計画の中でエアコン設置について明記されていない。

それならばせめて、計画の中で豊山小学校の講堂のエアコン設置について明記するとともに、改築に合わせて講堂のエアコン設置工事を実施するよう強く求める。

**A** 教育委員会事務局長

公共施設の長寿命化計画は、過去に建設された公共施設が全国的に老朽化が進み、その維持・更新に多額の費用が必要となることから、国土交通省などにより、トータルコストの縮減と予算の平準化対策として推進されてきた。

その後、普通教室と特別教室の空調整備に対応し、さらに一人一台タブレット端末の配備や小学校のトイレ改修に着手するなど児童生徒の学習環境は大きく改善されたと考えている。長寿命化計画には体育館の空調整備について記載はないが、近年の気象状況や避難所としての役割などを踏まえると、将来的に計画の見直しや講堂の改築の際には空調整備を検討課題とする。



体育館へのエアコン設置は待たなし